

令和元年度	
氏名	いのくら みつひろ 井ノ倉 光博
生年	昭和39年生
住所	奈良県奈良市
品目	大和茶（やまとちゃ） <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県の茶栽培は、弘法大師（空海）が唐から持ち帰った種子を、仏隆寺（宇陀市）の開祖である高弟堅恵に与えて栽培したのが始まりとされる ・茶の栽培面積は約701ha、荒茶生産量は約1700t（H29）で全国7位、産出額は19億円で県農業産出額の4.4%を占める ・県北東部の大和高原は、かぶせ茶や煎茶、番茶、てん茶などが「大和茶」として生産される日本有数の茶処
技術	手もみ製法の継承とかぶせ茶等の高級茶による大和茶のブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県北東部の月ヶ瀬で中山間地域の気候を活かして山間地域の気象を利用して高品質な茶葉を生産 ・エコファーマー認定（煎茶）を受け、有機質肥料中心の施肥や点滴施肥、薬剤のローテーション散布など環境に配慮した茶栽培を実践 ・手もみ製法は農林水産省茶業試験場での研修で技術を習得し、現在、奈良手もみ茶振興会会長（師範）、全国手もみ茶品評会において3等に入賞
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・宝暦元年（1751）から続く茶生産農家の11代目で、就農当初は5haの煎茶専業からスタートし、平成12年の乗用型摘採機の導入や翌年の製茶工場のF A化に伴い、茶園規模を5haから7haに拡大 ・平成24年に株式会社ティーファーム井ノ倉を設立、平成26年には自社店舗の「SHOP 粹翠」をオープンし、本格的に井ノ倉ブランドで6次産業化を推進 ・首都圏の大手百貨店や高級ホテルでも採用され、海外へも販路を拡大 ・平成30年度には、てん茶工場を増設
相談に 応じられる 分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・手もみ茶製法技術指導
受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年 第57回 関西茶品評会 農林水産大臣賞 ・平成22年 第64回 全国茶品評会 農林水産大臣賞 ・平成25年 第66回 関西茶品評会 農林水産大臣賞
主な役職	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年～ 奈良手もみ茶振興会 会長 ・平成24年～ (株)ティーファーム井ノ倉 代表取締役 ・平成24年～ 月ヶ瀬茶業振興協議会 会長
H P	https://www.inokura.co.jp/ （TEA FARM INOKURA）



←茶畑



SHOP 粹翠（すいすい）